

核内受容体をターゲットにしたアッセイサービスの紹介

ドイツのPheneX PharmaceuticalsAG社による核内受容体をターゲットにしたユニークなプラットフォームを活用した各種受託サービスを提供します！

化合物のスクリーニングや、化合物が持つプロファイル情報に活用が可能で、化合物のフェーズを上げる際の判断情報として非常に有効です。

核内受容体に対するアゴニストあるいはアンタゴニスト活性を持つ薬物を探索する上で、その薬物が持つ核内受容体に対する選択性プロファイルおよびコファクターのリクルートメントプロファイルを評価する事が薬効や副作用に対して重要な知見を与えます。

PheneX社では、ユニークな技術で核内受容体選択性スクリーニング、コファクタープロファイリングサービスを提供しています。

■ サービス概要

① 核内受容体選択性スクリーニングサービス

- Cellular Reporter AssayとBiochemical FRET Assay
- アゴニスト測定とアンタゴニスト測定の2つのモードで解析
- 29ヒト核内受容体スクリーニングが可能
- 4-7週間の短期間でレポートを提供

② 核内受容体コファクタープロファイリングサービス

核内受容体に結合するリガンドには選択的にコファクターを誘導するものがあります。誘導されたコファクターにより遺伝子制御が異なるため、薬効や副作用を示すバイオマーカの可能性を持っています。

PheneX社では核内受容体に対する選択的モジュレータの解析技術を開発し、核内受容体コファクタープロファイリングサービスを提供します。



- Y2HやM2H等の核内受容体のリガンドとコファクターのインターラクシオンを調べる解析、その後の評価の遺伝子発現解析まで提供
- 独自のSNURM技術を使用
- 80以上のコファクター、110以上のコントラクトを含む3000以上の核内受容体関連リソースを保有
- 33種類の核内受容体に対してサービスを提供

サービス詳細URL : <http://www.ctcls.co.jp/products/phenex/service.html>

■開催日時

2016年2月19日（金） 10：00～11:00

■主催

CTCライフサイエンス株式会社

■費用

無料（事前登録制）

■申込みサイト

<https://ctc-form.jp/public/application/add/498>

■会場

インターネット上でのWebセミナーの為、ご来場は不要です。
ご使用中のPCよりアクセスして下さい。
アクセス方法はお申込み頂いた後、メールにて後日連絡致します。
音声は電話またはパソコンでお聞き頂けます。

■本件に関するお問合せ先

CTCライフサイエンス株式会社 マーケティング戦略部

ls-marcom@ctc-g.co.jp

03-5789-2340